

日程:2016年5月15日(日)-16日(月)

場所:富山県富山市(国際会議場)

内容:気候変動交渉及び温暖化対策(市場メカニズム、都市間連携等)、ポスト2015年開発アジェンダのうち環境の保護に関するゴール・ターゲットの実施、資源効率・神戸3R行動計画のフォローアップ、化学物質管理、生物多様性、海洋ごみ等(調整中)

参加:G7各国(伊、加、仏、米、英、独)、EU及びアウトリーチ(調整中)

開催理由

- ・ 2020年以降の温室効果ガス排出削減の新たな国際枠組みとポスト2015年開発アジェンダがともに2015年に合意される予定。
- ・ これらの新たな枠組の実施に向けて、ハイレベルの交渉・検討を進めることが必要。
- ・ 加えて、国際的に関心の高まっている環境保全政策をG7各国と協調して進めるための政策対話の場とすることができる。

参考:G8環境大臣会合(平成20年、神戸)概要

- ・ G8各国を含む全19か国の環境担当大臣会合及び8国際機関が参加。
- ・ 鴨下環境大臣(当時)が議長を務め、議長総括を採択。
- ・ 加えて、「神戸・生物多様性のための行動の呼びかけ」及び「神戸3R行動計画」の2つの文書に合意。